

(メモ)

良心学研究センター主催 公開シンポジウム

「同志社の新しい形」－ その歴史的経緯とこれから －

朝田 邦裕

京田辺キャンパスは、

キャンパス開校から 40 周年を迎えます！！

(開校当時を回顧すると・・・、)

○ 当時は郊外へのキャンパス移転が「ブーム」のようなタイミングでもあった？

○ 同志社大学が目指した「郊外型キャンパス」は、

今出川キャンパスに込められた思いを踏襲したキャンパスだった？

○ 新しいキャンパス像には、

開校当初から「社会に開かれた大学」としての姿があった？

京田辺市との協定（連携協力）／2005 年

⇒ 「京田辺地域連携推進室」開室

⇒ 「同志社クローバー祭」（「京田辺祭」）

⇒ 「京たなべ・同志社スポーツクラブ」（「KDSC」）・・・etc

「たなベクリスマス集会」、「たなべ・同志社ヒューマンカレッジ」がスタート

(いずれもスタート当時の名称)

同志社ローム記念館（同志社ローム記念館プロジェクト）が開館

(京田辺キャンパスは今・・・、)

○ 学生数約 9,000 人（「6 学部・6 研究科」）

○ 三者連携協定（「同志社大学・日産自動車・京田辺市」）／2024 年 7 月

○ 「スポーツ・コンプレックスならびに京田辺キャンパスリニューアル建設事業」

(150 周年記念事業) は、「学びの形の新展開」を見据えた事業のひとつ

以上